

商品市況展望

平成 24 年 9 月 30 日記

日刊スポーツ 「高級カツカレーにネットで安倍氏への批判相次ぐ」

26日の自民党総裁選直前、都内のホテルで決起集会を行った安倍晋三総裁（58）が、昼食に高級カツカレーを食べていたと一部の情報番組で報道され27日までに、インターネット上で“カツカレー騒動”が勃発している。ツイッターなどでは「(値段が) 高すぎる」「既に庶民感覚を失っている」などと安倍氏への非難が出ている。過去にも麻生太郎元首相の都内一流ホテルでの高級パー通いが非難されたことがあり、安倍氏にとっては早速、痛い船出となった。

安倍氏は26日、東京・ホテルニューオータニで行われた決起集会に出席。支持者を前に、総裁選に「勝つ」ための験担ぎとしてカツカレーを勢いよく頬張った。この様子をMBSテレビの情報番組の男性リポーターが「通常のカレーだけで3500円、カツを乗せると特別オーダーでもっと高くなるそうです」などと伝えたことが“カツカレー騒動”の発端となった。

放送直後から、ツイッターやフェイスブック上などで「安倍さんは全く庶民感覚がない」「高級カレーをテレビ前で食べるなんて一般人を無視している」などとの非難が出た。

ただ、一部には「3500円カレーを食べてみたい」という書き込みもあった。その後、ネット上で同ホテル内にあるコーヒーショップ「SATSUKI」のポークカツカレーのフィレ（3200円、サービス料別）ではないかとの情報が流出。同品は、定価に10%のサービス料が追加され3520円で提供している。

早速始まったな…という感じであるが、日刊スポーツは朝日新聞系列だ。その朝日新聞社店に入っている「アラスカ」のメニューには「極上黒毛和牛のスペシャルビーフカレー3,675円」というのがあり、毎日新聞社ビルの「アラスカパレスサイド店」には「極上、黒毛和牛のスペシャルカレー&ライス 5,040円（ランチセット）5,775円」があるって言うんだから、壮大なブーメランだ。

みのもんたも朝ズバで、「カツカレー食ってる場合か！」って言ったら、早速ネットでは「お前、3万円のカレーを食ったって、以前テレビで自慢してたじゃないか！」と調べられている。

三宅「朝日は安倍というといわずらに叩（たた）くけど、いいところはきちんと認めるような報道はできないものなのか」

若宮「できません」

三宅「何故（なぜ）だ」

若宮「社是だからです」

特定の政治家を叩き、おとしめることが社是である新聞社とはどんな存在だろうか。それは、むしろ政治的意図をあらわにしたプロパガンダ機関というべきだが、社論を決定する地位にある人物がこう述べたというから驚く。

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/120909/bks12090907550009-n1.htm>

すぎやまこういち氏 「今の日本は内戦状態。新聞やテレビを中心とする反日軍 VS ネット上で国を憂う日本軍」

http://www.news-postseven.com/archives/20120925_144970.html

これが正論でしょうね。最近、新聞を真面目に見るとバカになる。

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
9月24日	¥4,419	-31	¥4,429	-32
9月25日	¥4,412	-7	¥4,425	-4
9月26日	¥4,404	-8	¥4,417	-8
9月27日	¥4,394	-10	¥4,406	-11
9月28日	¥4,441	47	¥4,456	50

金相場は、先週号においては『目先天井を打っているならば、まずは4,200円辺りまでの調整安はありそうだ。しかしNY市場では、ファンド買い・ETF買いもまだ増加中であり、このまま押さずに高値追いつける可能性も残っている。抜ければ年初来高値更新の、4,654円オーバーを目指す事となるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場が4,363円(9/27)まで記録するものの、週末には急反騰。4,450円台での終了となった。

なおその後の夜間取引では、4,469円の高値まで記録している。

さて今回アップしたチャートを見ていただいた上で、…中略…

今回の上昇の起点は3,996円(8/3)であり、QE3の発動などを経て、4,540円(9/19)まで544円(13%アップ)の上昇となったわけだ。そこからは「材料出尽くし」で200円弱下げ、さてどっちに行くのでしょうかというところ。

、…中略…

年初来高値は、2/27の4,654円であり、今回の高値4,540円(9/19)はまだそれに達していない。QE3発動後の高値である4,540円は目先天井であろうが、今後2番天井があるのならば、目標はそれになるだろう。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,441
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,449
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,452
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,536	9月19日	¥3,886	6月4日	¥4,454
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,537	9月19日	¥3,940	7月24日	¥4,455
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,540	9月19日	¥4,166	9月3日	¥4,456

○NY 金日足

…削除済み…

週末 9/28 の NY 市場は、前日比 6.6 ドル安の 1773.9 ドルでの終了。国内換算では、円安であるため 15 時半比 1 円安。

この日の高値は 1785.9 ドルまでであったが、9/21 の高値 1790.0 ドルは更新出来ず。ただし引け値ベースでは、前日 9/27 にすでに 9/21 の高値は抜いている。

今後 1790 ドルを抜け、1800 ドルと来れば勢いが付くだろう。下値は、1750 ドルを引け値ベースで割り込むと、若干押しが深くなると見る。

CFTC 発表の 9/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

9/28 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、ファンドポジション、ETF の動向を見ても、金人気は低下したとは思えない。そうであれば、今の下落は上昇途中の単なる押しであり、4,363 円は調整安完了の価格ではあるまいか。押し目買いの相場であろう。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
9月24日	¥4,062	-75	¥4,076	-65
9月25日	¥4,076	14	¥4,084	8
9月26日	¥4,095	19	¥4,110	26
9月27日	¥4,118	21	¥4,124	14
9月28日	¥4,175	59	¥4,177	53

プラチナ相場は、先週号においては『戻り売りか、押し目買いなのか微妙なところだ。目先は仕掛けを手控えて、それを見極める場面だろうと考える。いずれにせよ、今は金よりも相場が強いという事はなさそうだ』とコメントした。

今週の相場展開は、先週 4,336 円 (9/18) → 4,050 円 (9/21) まで 286 円の急落を演じた流れを断ち切り、徐々に回復。

週明けは急落したが 4,050 円は割り込まず、その後は 4 連続の陽線引け。更に夜間取引でも 4,209 円と 4,200 円台乗せの高値まで記録しており、調整安を完了した雰囲気だ。

年初来高値は 3 月の 4,589 円 (3/14) であり、安値は 7 月の 3,460 円 (7/24) である。上下幅 1,129 円であり、金の年間上下幅 769 円よりも大きい。

プラチナ相場の変動が大きいのは、…中略…

そんなプラチナ相場であるが、連続陽線の出現で、4,050 円で押し目完了をした可能性が高いのではあるまいか。

確かに今の情勢を考えると、中国経済の先行きなど不安感はあるわけだが、南アは相変わらず不安定だ。ストで買われ、スト解決で売られたこのところの動きだが、またそぞろストが始まったという報道もある。

南ア・プラチナ鉱山ストは NUM (南ア全国鉱山労組) と鉱山会社の労使交渉合意により一時は沈静化した。しかし実際に職場復帰した労働者は 2 割程度と正常操業ができない状況が続いている。そんな中でアングロ・アメリカン・プラチナム社では違法ストが続き、経営陣が労働者解雇などを検討しているが、労働者はこれを無視して長期化している。

違法ストとして懲戒処分を下すと労使対立が激しくなる恐れがあり、またこれは単なる賃上げ闘争ではなく、民族、人権などの問題に絡ませようとする過激な勢力も台頭しているという。

もしも強制排除で死者が出るような事態になれば、また南アは混乱し、プラチナは高騰するかもしれない。過激派グループは、南アから白人を叩き出して、ジンバブエのようにしたいんだろうと思われる。武器は中国が提供してくれるしね…。

なお週末 9/28 の NY プラチナは…中略…

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,175
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,172
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥4,168
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,322	9月18日	¥3,466	7月24日	¥4,167
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,329	9月18日	¥3,460	7月24日	¥4,171
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,336	9月18日	¥3,807	8月31日	¥4,177

○東京プラチナー金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,177円（プラチナ）－4,456円（金）＝－279円。

－550円（8/13）は大底、－378円（8/31）は2番底で、今回－164円（9/14）から縮小して記録した－381円（9/21）もW底だろう。

しばらくは、若干縮小気味の中で、この範囲でのみみ合いと見るのが妥当なのではあるまいか。

結論として当方の相場観は、4,050円で調整安は完了した可能性が高いだろう。まずは4,300円台を目指し、南アでの緊張感が高まれば年初来高値の4,500円台を目指す事になるだろう。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	11月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
9月24日	¥27,100	300	¥26,370	0
9月25日	¥27,140	40	¥26,340	-30
9月26日	¥27,000	-140	¥26,300	-40
9月27日	¥26,770	-230	¥25,860	-440
9月28日	¥26,200	-570	¥25,770	-90

まずはコーンから…

先週号においては『ホット&ドライでの凶作は高値で織り込み済みの相場であり、それは三尊天井を形成済みである事からも実証されるだろう。しかし往って来いするほどファンダメンタルズは悪くなく、金融緩和の影響もある。となれば、この値位置での逆張りの展開が妥当なのだろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場が先物で **25,670円(9/28)まで下落**と、また一代安値の更新。ついに26,000円台も割り込んだ。

チャートでは一目均衡表の雲の下に顔をのぞかせており、相対力指数も30ポイント割れ。先物引き継ぎ足では **30,300円(8/13)→25,670円(9/28)**と一月半で**4,630円**の下落である。

…中略…

さて、21,000円→3万円まで9,000円上がって天井を打った相場は、半分の4,500円を下げた天候相場を終了したわけである。10月からは、需給相場の始まりである。

その9月末のシカゴ市場は、米四半期在庫の発表で大暴騰。40セント高のストップ高で終了している。国内換算では1,340円高の暴騰であり、需給相場のスタートはまた一気に相場が様変わりしそうな気配である。

一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥31,810	8月23日	¥21,060	6月4日	¥26,200
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥30,950	8月22日	¥20,520	6月4日	¥26,190
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥26,160
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥26,380
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥26,320
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,670	9月28日	¥25,770

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末 9/28 のシカゴ市場は、12 月限で 40 セント高の 756.25 セントでの終了。安値は 705 セントまでであったわけだが、その後の米農務省報告で大暴騰である。

大暴騰した要因の米農務省四半期報告の詳細は以下のとおり。

○全米四半期在庫（9/1 現在）9 億 8,800 万 Bu（事前予想 11 億 2800 万 Bu からは大幅減）

これは 8 年ぶりの低水準であり、2011/2012 年度の在庫（旧穀）の在庫率を単純に換算すれば、9.6%→8.0%に下方修正されることとなる。2012/2013 年度の在庫は、9/12 時点の農務省報告では 6.5%であるが、昨年に比べて大幅に生産高が低下している中で、期初在庫が 10 億 Bu をも割り込んでいるという状況では、現状の 6.5%からかなり低下するだろう。

天候相場はすでに終了であるが、今回の思わぬ在庫減によって、相場は需給相場での上昇となって行く事はほぼ確実。8 ドル台までの回復は、早いのではないかと観測されている。

なお CFTC 発表の 9/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、米四半期在庫の大幅減少というサプライズで、週末のシカゴ市場は大暴騰。天候相場は 9,000 円上げて、4,500 円下げての半値押しで終了だったが、これで 10 月からの需給相場はまた高値追いする可能性が高まっただろう。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
9月24日	¥56,500	-700	¥48,470	-420
9月25日	¥56,800	300	¥48,860	390
9月26日	¥56,300	-500	¥48,670	-190
9月27日	¥56,350	50	¥48,370	-300
9月28日	¥57,500	1150	¥48,530	160

続いて一般大豆です…

先週号においては『米農務省報告、QE3での資金流入は見られず。現状では強材料織り込み済みの中で、さしたる新たな買い材料もないゆえ、調整安は継続するか。もう少し大きく下げないと、アク抜けしないかもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、48,000円台でのみみ合い継続。安値は48,080円(9/27)まであり、チャートでは一目均衡表の雲の下限まで到達した。

チャートでは49,000円割れで小さなWトップは完成済みであるが、大きなWトップは46,400円を割り込まないと完成しない。また相対力指数も40ポイントまでの下落で、30ポイントを割り込んだコーンとは一線を起す。

なんだかんだ言っても、それだけファンダメンタルズが強いから下げづらいという相場なのだろうが、それは9/12発表の在庫率を見ても、コーンは6.5%、大豆は4.3%という数値で実証されている。

そんな中でざっくり52,000円→48,000円まで4,000円下げた相場だが、週末のシカゴ市場ではコーンの急騰に連れ高して、30セント高の上昇となっている。コーンは40セントがストップ高なのに対し、大豆は70セントがストップ高ゆえにさほど上げているわけではないが、5万円に乗せる事ができれば、また雰囲気は大きく変わるだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥62,100	7月23日	¥36,410	12月15日	¥57,500
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥63,950	7月23日	¥36,830	12月16日	¥53,850
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥60,000	7月23日	¥41,050	2月16日	¥50,720
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥56,480	7月23日	¥41,750	6月4日	¥50,100
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥52,190	7月20日	¥44,400	6月18日	¥48,900
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥51,810	9月5日	¥47,620	8月17日	¥48,560

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末9/28のシカゴ市場は、11月限で前日比30.25セント高の1601.00セント。安値は1559.50

セントまであったのだから、そこからはかなりの上昇を見せたことになる。

この日発表された全米四半期在庫は、1億6900万Buと事前予想の1億3200万Buを上回った。これは弱材料であるわけだが、それよりもコーンのストップ高に影響された模様。

ただし相変わらず中国向け輸出は好調で、しかも元々の在庫率はコーンよりも低い。ブラジルでの天候異変があれば再び大きく舞い上がる素地はあるわけで、15ドル台→16ドル台まで回復したということは、17ドル台まで上昇をしても全くおかしくないだろう。

なお CFTC 発表の 9/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、今週末の安値時点で、調整安は完了した可能性が高いだろう。10月からの需給相場は押し目買い方針で、南米の天候リスクを織り込む動きになるのではないかと想定する。

[ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

今週のゴムの値動き

	9月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
9月24日	240.5	-2.5	254.4	-2.6
	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
9月25日	252.1	1.3	255.4	
9月26日	250.5	-1.6	253.4	-2.0
9月27日	251.0	0.5	254.8	1.2
9月28日	257.1	6.1	260.5	5.9

先週号においては『大勢では上昇トレンドだろうが、260円台で頭が重くなった印象が強い。目先は調整局面入りと見て、240円辺りまでの押しが先との判断である』とコメントした。

今週の相場展開は、9/19に記録した263.6円から下落に転じた相場が250円割れまで下落したものの、その後はまた反騰。週末は260円台を再び回復して終了である。

なお週末の夜間取引では263.0円の高値まで記録であり、19日の高値更新まであと僅かに迫った。

24日に納会した9月限は、240.5円と240円台をキープしての納会であり、これは評価出来るだろう。

先週号では、先物で最大この程度までの押しを予測したが、結果は249.0円(9/27)まで下げでの反騰であり、他商品の動向も合わせて考えると、これで押し目を完了したのだろう。

今後、どこかでこれを割り込むようなら本格的な下げが来るだろうが、目先は263.6円を更新し、押し目の倍返し(263.6円→249.0円の14.6円幅の下げの倍返し)である278.2円が上値目標となるだろう。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年9月	341.2	3月27日	341.9	3月27日	198.5	8月15日	240.5
2012年10月	307.2	4月24日	317.8	5月2日	200.9	8月15日	257.1
2012年11月	267.8	5月28日	274.0	5月30日	203.6	8月15日	257.0
2012年12月	233.3	6月26日	259.6	7月4日	204.5	8月15日	256.5
2013年1月	230.2	7月26日	261.5	9月19日	205.6	8月14日	257.9
2013年2月	230.0	8月26日	263.6	9月19日	216.4	8月31日	259.0
2013年3月	253.5	9月25日	261.3	9月28日	249.0	9月27日	260.5

当先のサヤは、10月限257.1円～3月限260.5円と3.4円の順ザヤ。ほぼ同ザヤと言っても良い水準であり、期近が高すぎるのか？先物が安すぎるのか？という価格である。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、9/20 現在で 202 トン減の 6,215 トン。13 旬連続の減少であり、国内在庫の低下は続いている。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、週末に急騰。23000 元台まで下げていた相場が、25000 元台を一時回復した。在庫が急増ということは…中略…

また中国人民銀行は、過去最大規模となる **3650 億元 (約 4 兆 5000 億円)** の資金供給を実施。結果、市場金利は大きく下落し、反日テロ以来下落していた上海株式相場も、大きく反騰している。

結論として当方の相場観は、249.0 円で調整相場は完了しただろう。押し目買いで、目標値は押し目の倍返しの 278.2 円に設定するのがベターであろうと見る。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	9 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
9 月 24 日	¥54,690	-40	¥51,620	60
9 月 25 日	¥54,620	-70	¥51,380	-240
9 月 26 日	¥54,630	10	¥51,250	-130
9 月 27 日	¥54,680	50	¥51,390	140
9 月 28 日	¥54,680	0	¥52,170	780

まずは原油から…

先週号においては『NY 原油 100 ドル、東京原油 55,000 円で目先の天井は打ったか。戻り売り方針で、買いは次の底入れを待っての仕掛けが良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY 原油は 88.95 ドル (9/26) まで大きく下落。しかし 9/27 には 92 ドル台まで反騰し、週末 9/28 も確り終了。

QE3 が発動された後、100.42 ドル (9/14) まで上昇した相場は、…中略…

94 ドル台半ばまで戻れば、調整安は完了と見ても OK だと考えるが、現状では戻り売りなのか？押し目買いなのか？は微妙なところだろう。

押し目買いだとすれば再び 100 ドルを目指すのだろうが、戻り売りなら 85 ドル割れ程度までは考えておく必要があるか。何とも微妙なところと言わざるを得ない。

もしも騰るとした場合には、…中略…

なお週末のロンドンブレントは 112 ドル台、ドバイ原油は 109 ドル台であり、こちらも今は下げ止まった印象。

また 9/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、55,540 円 (9/18 だが実際は 9/14 夜) まで上昇の後に暴落。50,290 円 (9/21) まで下げ、その後はもみ合いである。

NY 原油は 9/21 には 90 ドル台は維持しており、東京は NY 原油よりも今週は確りしていた。

先週号では『おそらく 55,540 円は天井であり、そうそう簡単には抜けないだろう。抜くには、何か強烈な強材料が要るだろう。戻りは 53,000 円までは可能性があるが、51,000 円～53,000 円でのみみ合いが順当なところ。逆に弱く 5 万円割れとなった場合は、なお 2,000 円下げの 48,000 円台が目標になるだろう』としたわけだが、まだ 53,000 円の戻りは達成していないので何とも言えないが、5 万円割れも回避しようなので、相場観はまた中立に戻す。

つまり 55,540 円は天井かもしれないが、50,290 円も底でもおかしくはないだろう…と。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年9月	¥60,800	4月2日	¥61,900	4月4日	¥43,780	6月26日	¥54,680
2012年10月	¥57,430	5月1日	¥57,710	5月2日	¥44,310	6月26日	¥53,030
2012年11月	¥47,650	5月1日	¥56,110	9月18日	¥44,190	6月26日	¥53,050
2012年12月	¥47,580	7月2日	¥56,080	9月18日	¥46,240	7月3日	¥52,750
2013年1月	¥48,890	8月1日	¥55,790	9月18日	¥48,420	8月1日	¥52,500
2013年2月	¥53,910	9月3日	¥55,540	9月18日	¥50,290	9月21日	¥52,170

結論として当方の相場観は、現状の相場観は中立。先行きの経済懸念と金融緩和のどちらに凱歌が上がるかは不明であり、順当なら突っ込み買い、吹き値売りの逆張り対処が良しか。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
9月24日	¥48,160	410	¥62,530	-50
9月25日	¥68,460	300	¥62,350	-180
	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
9月26日	¥65,720	500	¥63,770	
9月27日	¥65,500	-220	¥64,180	410
9月28日	¥66,240	740	¥65,230	1050

続いてガソリンです…先週号においては『今週の6,000円超の下げで、相場には完全にひびが入った展開だろう。よって67,000円台は天井と見て、戻り売り方針に転換。何らかの強烈な買い材料が出るまでか、あるいは自然に底打ちするまでは、戻り売りであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、反騰に転じた相場が65,000円台まで上昇。67,000円→61,000円まで6,000円下げた相場が、結局今週は4,000円戻したという状況である。

9/20の暴落で完全に崩れたと思われた相場が、一目均衡表の雲で支えられ、週末は急騰である。結局、20日の大陰線は包み込んだ格好であり、まだ新値更新はしていないのだから戻り売りの可能性もないではないが、逆に61,000円で調整安が完了したと思えなくもない相場である。

QE3発動で買いた！反日テロで売りだ！とコロコロ変わった相場観だが、現状では若干強めの中立にまた転換と、再び変更を迫られる展開である。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥54,850	6月26日	¥68,450
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	¥54,040	6月26日	¥66,240
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥66,660	9月18日	¥53,530	6月26日	¥64,830
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥66,530	9月18日	¥53,460	6月26日	¥63,730
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥66,350	9月18日	¥58,160	7月27日	¥63,100
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥67,170	9月18日	¥61,020	9月21日	¥63,670
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥65,320	9月28日	¥63,280	9月27日	¥65,230

9/28現在の業者間転売価格は、…中略…

9/22現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、20日の大陰線を包み込んだチャートであり、67,000円で大天井を打ったというよりも、今は61,000円で調整安を完了したという方が適正に思える展開にまた変化。押し目買い、吹き値売りでの対処が良いだろう。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
9月24日	¥67,690	90	¥65,990	20
9月25日	¥68,460	300	¥65,780	-210
	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
9月26日	¥66,700	-280	¥63,920	
9月27日	¥66,680	-20	¥63,990	70
9月28日	¥67,830	1150	¥65,180	1190

最後に灯油です…先週号においては『12月限～2月限の新規売りはしたくないが、先物は7万円を目前に天井を打ったとの判断で、戻り売り方針へまた転換である』とコメントした。

今週の相場展開は、9/27には発会した4月限が63,320円まで下落。4月限は需要期明け限月なので、3月限と比べても1,000円以上も下ザヤでの推移であり、先物引き継ぎ足チャートはなお悪化。

しかしそこから反騰した相場は、週末には65,000円台を回復。既存の先物だった3月限は6,600円台、それ以前の限月は67,000円台を回復である。

先物引き継ぎ足チャートでは、…中略…

買い中心限月だと考えている1月限は70,400円→65,340円まで5,060円の下げ、週末夜間取引の高値では68,000円ジャストと2,660円の戻し。半値戻しをちょっと超えたわけだが、これが全値戻しになるかどうか注目だろう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	¥55,650	6月29日	¥67,400
2012年11月	¥70,800	4月26日	¥71,400	4月27日	¥56,350	6月26日	¥67,830
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥70,550	9月18日	¥56,800	6月26日	¥67,760
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥70,400	9月18日	¥57,080	6月29日	¥67,650
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥70,230	9月18日	¥61,350	7月26日	¥67,410
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥69,750	9月18日	¥64,440	9月21日	¥66,500
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥65,210	9月27日	¥63,320	9月27日	¥65,180

9/28 現在の業者間転売価格は、…中略…

9/22 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、中物は押し目買い、先物は戻り売りの相場観であるが、大勢は原油相場しだいであり、その情勢がはっきりしないと仕掛けはしづらい相場であろう。

[為替]

○ドル/円相場日足

…削除済み…

QE3 の発表では円高に、日銀の金融緩和では円安に振れたものの、いずれもその一瞬だけで終了。その後はガラガラと円高が進み、週末には 77.50 円台まで円高が進行した。

…中略…

来週の主な予定は、

1 日（月）日銀短観（第 3 四半期）

4 日（木）BOE 政策金利 ECB 政策金利・ドラギ ECB 総裁、記者会見

5 日（金）米雇用統計（9 月）

などである。中国は国慶節でずっと休みだし、さて何が材料視されるかだ。

* BOE とは Bank of England の略であり、イングランド銀行（英中央銀行）の略。

○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ECB 理事会での国債無制限購入にニュース～ドイツ憲法裁判所が ESM 合憲判断などで円安/ユーロ高が進んだ市場は、103.84 円（8/17）で頭打ち。週末には 99.63 円（9/27）まで下落である。

つまり 4 円弱、円高/ユーロ安がこのところ進んだという事だ。…中略…

○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

このチャートも 1.317 ドル（9/17）と東京市場 3 連休中にドル安/ユーロ高はピークを打ち、その後調整局面入りとなっている。

そして 1.283 ドル（6/27）までドル高/ユーロ安が進み、その後週末は僅かに戻したが、NY タイムではスペインの格下げを嫌気して、また若干のドル高/ユーロ安となっている。…中略…

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

（当たり前ですが念のため）

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com